



## 2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 NSユニテッド海運株式会社

コード番号 9110 URL http://www.nsuship.co.jp

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 谷水 一雄

問合せ先責任者 (役職名) 経理グループリーダー (氏名) 小林 勝利 TEL 03-6895-6407

四半期報告書提出予定日 2020年8月7日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	31,565	△12.9	64	△95.8	△254	-	2,133	82.2
2020年3月期第1四半期	36,244	△3.2	1,520	△20.0	960	△47.8	1,171	△2.8

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 2,170百万円 (-%) 2020年3月期第1四半期 △604百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	90.50	-
2020年3月期第1四半期	49.67	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	251,234	92,455	36.8
2020年3月期	248,522	91,110	36.7

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 92,455百万円 2020年3月期 91,110百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	-	45.00	-	35.00	80.00
2021年3月期	-	-	-	-	-
2021年3月期（予想）	-	30.00	-	-	-

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

(注) 現時点では、2021年3月期の期末配当は未定であります。

### 3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	68,000	△5.5	1,200	△58.7	500	△73.5	2,700	△27.6	114.57
通期	145,000	△2.3	4,300	△38.9	3,000	△45.2	5,000	△15.9	212.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、 除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	23,970,679株	2020年3月期	23,970,679株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	403,989株	2020年3月期	403,989株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	23,566,690株	2020年3月期1Q	23,566,933株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。なお、本日付で「業績予想及び配当予想に関するお知らせ」を別途開示しておりますので併せてご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料は、2020年7月31日（金）に当社ウェブサイトに掲載致します。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2020年4月1日から2020年6月30日までの3ヶ月間）の外航海運事業は、ドライバルクにつきましては、期末に向けて大型船を中心に市況の回復が見られましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響等により期を通じて低調に推移しました。

ケーブ型撒積船（18万重量トン型）につきましては、中国の新型コロナウイルス感染症拡大による規制解除後の経済活動再開を受け4月には一時的に市況の回復が見られましたが、その後、欧米を含む世界的な影響拡大を受けた原料輸送需要の減少や先行きを不安視する市場心理の冷え込み等から、平均用船料率は一時日額2千ドルを割るほど大きく落ち込みました。6月に入ると景気刺激策を背景とした中国向け荷動きが堅調に推移したことに加え、1～3月に荒天の影響から停滞したブラジルからの鉄鉱石出荷が復調したことから市況は大きく反転上昇、長距離輸送の拡大により船腹需給が引き締まり、同月末には日額3万ドルを突破しました。パナマックス型以下の中小型撒積船（2～8万重量トン型）につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、発電用石炭や鋼材、副原料輸送の需要減退が見られましたが、一方で南米積み穀物の輸送需要が底堅かったことから、低位で推移しながらも支えされた市況は期末に向けてケーブ型撒積船市況が上向くにつれ反発しました。一方、VLGC（大型LPG運搬船）につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大による景気の減退やOPECプラスの原油減産等を背景としたLPG供給量の減少、加えて長距離輸送であるアメリカからのアジア向けLPGの荷動きが減少し、期を通じて市況は軟化が続きました。

このような事業環境の下、外航海運事業の業績は、前年同期比で減収減益となりました。

内航海運事業のうち、ドライバルクにつきましては、鉄鋼関連輸送は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響や粗鋼減産を受け原料輸送量、鋼材輸送量共に前年度を大きく下回りました。セメント関連輸送も、新型コロナウイルス感染症拡大による需要減退が影響し、輸送量は前年同期を下回りました。一方で近年取り組みを強化しております発電用バイオマス関連輸送は堅調に推移しました。タンカーにつきましては、LNG、LPG輸送共に、省エネ化の進展や新型コロナウイルス感染症拡大による工業、民生用需要減退の影響を受け輸送量は前年同期を下回りました。

このような事業環境下、内航海運事業の業績は前年同期比で減収減益となりました。

燃料油価格につきましては、当第1四半期連結累計期間の平均消費価格は、高硫黄C重油がトン当たり約276ドル（前年同期比では約163ドル下落）、適合燃料油がトン当たり約406ドル（前年同期は使用せず）となりました。また、対米ドル円相場は期中平均で108円33銭と、前年同期比では3円の円高となりました。

このような事業環境下、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は315億65百万円（前年同期比12.9%減）、営業利益は64百万円（前年同期は15億20百万円の営業利益）、経常損失は2億54百万円（前年同期は9億60百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純利益は21億33百万円（前年同期は11億71百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

なお、当社グループの事業構成は海上輸送業がほぼ全体を占めており、連結売上高に占める外航海運事業の割合は8割強、内航海運事業の割合は2割弱となっています。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は2,512億34百万円となり、前連結会計年度末比27億12百万円の増加となりました。このうち流動資産は現金及び預金の増加等により、21億35百万円増加しました。固定資産は船舶の取得等により、5億77百万円増加しました。

負債合計は前連結会計年度末に比べ、13億67百万円増加して1,587億80百万円となりました。流動負債は短期借入金金の増加等により、14億25百万円増加しました。固定負債はリース債務の減少等により、58百万円減少しました。

純資産合計は親会社株主に帰属する四半期純利益の計上と配当金支払いの差引による利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末に比べ13億45百万円増加し、924億55百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期連結業績予想

(単位：百万円)

	第2四半期連結累計期間				通期			
	期初予想	今回予想	増減額	増減率	期初予想	今回予想	増減額	増減率
売上高	-	68,000	-	-	-	145,000	-	-
営業利益	-	1,200	-	-	-	4,300	-	-
経常利益	-	500	-	-	-	3,000	-	-
親会社株主に帰属する当期純利益	-	2,700	-	-	-	5,000	-	-

※今回予想における対米ドル円換算率及び燃料油価格の前提は以下の通りです。

	今回予想	
	(第2四半期前提)	(第3・4四半期前提)
対米ドル円換算率	US\$=107円	US\$=105円
燃料油価格 (高硫黄C重油)	US\$235/MT	US\$285/MT
燃料油価格 (適合燃料油)	US\$315/MT	US\$385/MT

第2四半期以降のドライバルクを中心とする外航海運市況につきましては、第1四半期に落ち込んだ各国の経済活動や製品需要の回復に伴う荷動きの持ち直しが期待されます。一方、新型コロナウイルス感染症収束の見通しについては不透明であり、各国間の政治的な対立や貿易摩擦などと共に、今後も事業環境に一定の影響が残る可能性が考えられます。

このような見通しの下、当第1四半期連結累計期間の業績を踏まえ、第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高680億円、営業利益12億円、経常利益5億円、親会社株主に帰属する四半期純利益27億円を予想しております。また、通期の連結業績につきましては、売上高1,450億円、営業利益43億円、経常利益30億円、親会社株主に帰属する当期純利益50億円を予想しております。

なお、第2四半期以降の前提条件につきましては、対米ドル円換算率と燃料油価格は上記表の通りとしております。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	19,803	25,856
受取手形及び営業未収金	18,650	15,654
たな卸資産	5,876	5,007
前払費用	3,027	3,020
デリバティブ債権	1,379	1,144
その他流動資産	1,773	1,961
貸倒引当金	△24	△22
流動資産合計	50,484	52,619
固定資産		
有形固定資産		
船舶（純額）	176,472	177,343
建物（純額）	422	426
土地	703	703
建設仮勘定	9,636	9,742
その他有形固定資産（純額）	61	58
有形固定資産合計	187,295	188,271
無形固定資産	2,546	2,468
投資その他の資産		
投資有価証券	2,599	2,659
長期貸付金	28	27
繰延税金資産	3,537	3,141
退職給付に係る資産	1,480	1,501
その他長期資産	552	547
投資その他の資産合計	8,197	7,876
固定資産合計	198,038	198,615
資産合計	248,522	251,234

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	6,097	5,549
短期借入金	37,733	40,766
リース債務	351	351
未払金	737	485
未払費用	227	315
未払法人税等	284	139
前受金	1,201	1,136
賞与引当金	425	104
役員賞与引当金	52	6
デリバティブ債務	3,115	2,894
その他流動負債	2,408	2,311
流動負債合計	52,630	54,055
固定負債		
長期借入金	94,681	94,685
リース債務	4,729	4,641
繰延税金負債	1,600	1,652
特別修繕引当金	3,609	3,589
退職給付に係る負債	161	156
その他固定負債	2	2
固定負債合計	104,783	104,725
負債合計	157,412	158,780
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,300	10,300
資本剰余金	17,181	17,181
利益剰余金	65,748	67,056
自己株式	△995	△995
株主資本合計	92,235	93,543
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△0	63
繰延ヘッジ損益	△1,239	△1,244
為替換算調整勘定	△55	△64
退職給付に係る調整累計額	169	156
その他の包括利益累計額合計	△1,125	△1,088
純資産合計	91,110	92,455
負債純資産合計	248,522	251,234

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高		
海運業収益及びその他の営業収益	36,244	31,565
売上原価		
海運業費用及びその他の営業費用	33,286	30,115
売上総利益	2,959	1,451
一般管理費	1,439	1,387
営業利益	1,520	64
営業外収益		
受取利息	18	5
受取配当金	71	36
持分法による投資利益	8	3
受取補償金	—	97
その他営業外収益	20	25
営業外収益合計	117	166
営業外費用		
支払利息	364	373
為替差損	300	78
その他営業外費用	13	33
営業外費用合計	677	484
経常利益又は経常損失(△)	960	△254
特別利益		
固定資産売却益	249	3,027
特別利益合計	249	3,027
特別損失		
用船解約金	50	—
特別損失合計	50	—
税金等調整前四半期純利益	1,159	2,773
法人税等	△12	640
四半期純利益	1,171	2,133
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,171	2,133



(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	1,171	2,133
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△173	63
繰延ヘッジ損益	△1,602	△5
為替換算調整勘定	11	2
退職給付に係る調整額	△17	△13
持分法適用会社に対する持分相当額	6	△11
その他の包括利益合計	△1,774	37
四半期包括利益	△604	2,170
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△604	2,170

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	外航海運事業	内航海運事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	30,132	6,112	36,244	—	36,244	—	36,244
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	2	2	83	85	△85	—
計	30,132	6,115	36,247	83	36,329	△85	36,244
セグメント利益 又は損失(△)	1,353	171	1,524	△5	1,519	0	1,520

(注) 1. 「その他」の区分には、情報サービス業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額0百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	外航海運事業	内航海運事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	26,443	5,122	31,565	—	31,565	—	31,565
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	2	2	93	95	△95	—
計	26,443	5,124	31,568	93	31,660	△95	31,565
セグメント利益	8	53	61	2	63	1	64

(注) 1. 「その他」の区分には、情報サービス業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額1百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。